

IEEE GOLD/LMAG 交流会参加報告書

山口 純

IEEE 東京理科大学 Student Branch Secretary

1. はじめに

2012 年 2 月 23 日(木)に、中央大学後楽園キャンパスにて Tokyo GOLD, LMAG, JC WIE および、東京電機大学、東京理科大学、明治大学の各 Student Branch 主催による「GOLD/LMAG 交流会」が開催された。本交流会には、Tokyo GOLD から 3 名、LMAG から 3 名、社会人の方 1 名と約 25 名の学生が参加した。

2. GOLD/LMAG 交流会概要

2.1 GOLD/LMAG 交流会内容

GOLD/LMAG 交流会では、中央大学後楽園キャンパスにて、Tokyo LMAG 会員の方々を迎えて、「変化の激しい現代社会と向き合う」をテーマに討論が行われた。

2.2 プログラム

GOLD/LMAG 交流会のプログラムは下記の通りである。

16:00～ 開会挨拶

16:05～ LMAG の方々より自己紹介

16:10～ 討論+開会挨拶

17:30～18:30 意見交換会

3. GOLD/LMAG 交流会の様子

本交流会では、まず Tokyo GOLD の Ohgoe Yasuharu 氏から開会の挨拶が行われた。

開会式の後、Tokyo LMAG の Chair の葉原耕平氏、Vice Chair の臼井 支朗氏、Secretary の持田 侑宏氏からそれぞれ自己紹介が行われた。



図 1 会場の様子

討論では、「変化の激しい現代社会と向き合う」をテーマに議論が行われた。まず、「学生と社会人はどのような点で異なるか」について葉原 耕平氏から学生に意見を求めた。学生からの意見として“責任感の違い”“利益のある・なし”“お金を払う立場と受け取る立場”などの意見が出された。葉原 耕平氏からは、“学生は試験がある(答えがある)が、社会人になると試験はない(答えがない)”との違いを教えて頂いた。次に「グローバル化とは何か」との質問が出され、“簡単に海外に行くことができる”や“人と人が簡単にコミュニケーションを取れる(インターネット)”などの意見が出た。葉原

【報告】

耕平氏から、グローバル化になっても日本人としてのアイデンティティを持つことの大切さを教えて頂いた。

最後に学生から LMAG の方々への質問を募り「これからの社会で激動すると考えられるもの」について質問が出された。まず、葉原 耕平氏は、“質問するだけでなく、まず自身の質問に対して自分自身の意見を言い、質問をするべき”と指摘された。質問については、“歴史の観点から見て世界経済の中心とされて来た国は、鉄鋼業→産業→金融の流れで発展し衰退している。現在のアメリカの経済の中心は金融であり、衰退する可能性がある。世界的に激動するのは”とのご意見を頂いた。

本交流会を通して、なかなか学生側から意見が出てこず、LMAG 会員の方々から、“日本人はシャイなためこういった場で意見が出せないのが難点である”と指摘された。

意見交換会では、参加者が個別に先ほどの討論の内容などについて歓談する様子が見られた。



図 2 意見交換会の様子

意見交換会では、学生同士や、LMAG 会員の方

平成 24 年 2 月 23 日を交えて、活発に意見を交わしているようだった。私は、他の大学の学生と研究テーマや、大学の雰囲気などについて情報を交換したり、LMAG 会員の方に交流会の感想を聞いたりした。



図 3 集合写真

4. 最後に

本交流会に参加して、他大学の学生や LMAG 会員の方の考えを聞くことが出来た。討論では私も意見が出せず、会の流れを聞いているだけになってしまったので、今後の IEEE Student Branch の交流会などの活動を通して、自分からも意見を出せるように成っていききたい。

謝辞

本交流会を開催するにあたり、様々な方々にお世話になりました。また、本交流会のような貴重な交流の場が得られたことをこの紙面を借りて、皆様に深く感謝の意を申し上げます。